

Play@ 導入事例

現場で使える！帳票開発・BI・データ変換ツールの決定版

●前システムの帳票をリプレイス後も利用したい

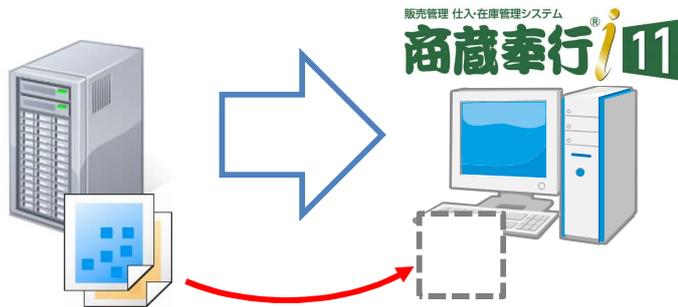
お客様プロフィール I社様

●工業製品・建設資材卸売 ●売上:20億円 ●社員数:80名

製品構成 Play@ 3Net Web30 + 帳票5枚



Before



※商蔵奉行は、株式会社オービックビジネスコンサルタントの登録商標または商標です。

スクラッチの販売管理システムからパッケージへリプレイスに伴い、前システムで対応していた帳票を引き継ぎたい。

販売管理においてスクラッチのシステムを10数年利用していたが、サポートが終了の上、動作環境が現状に合わなくなっている事から、対応OSの更新や消費税改正への対応を機にリプレイス。従来、経営幹部や現場の要望に随時対応するべく、付属のツールでシステム標準にはない帳票を作成対応していた。リプレイス後も帳票の継続利用と内製対応が導入の要件としている。継続利用する帳票は売上や仕入の日計表、支払依頼書、業務計画と実績のダジャスト。日計表は各拠点の営業担当や経理担当が随時閲覧・印刷を行う事が要件である。

問題！

◆1帳票内に複数の表が存在するレイアウトが出力できない

帳票は1枚に複数の表が存在するレイアウトが基本であり、パッケージ標準帳票で対応する場合は複数帳票に分かれてしまう。その為、ひと目で経営情報を比較できず、経営幹部や営業担当からNGであった。

◆カスタマイズでは予算超過、バージョン凍結、汎用性消滅

継続対象の帳票を商蔵奉行のカスタマイズで対応すると、今後のバージョンUPの際に再度改修が発生するといった影響があり、対応費用も予算を超過する。メンテナンスも自由ではない為、経営幹部や現場からの要望にも対応できず。

◆ExcelやAccessといった既存の仕組みでは対応できず

従来はシステムから出力対応できていた為、CSV切り貼り等の手作業となってしまうExcelは不可。マクロやAccessでの対応を検討したが、OFFICEのバージョンUP対策、計算式のメンテナンス、ファイルの配布や世代管理の負荷が大きく課題となった。

Play@でオリジナル帳票を自由に作成・出力

